

太田東西かわら版

2021. 1

“うらない” 薬剤師



昨年出雲大社に参拝した際、出会ったお店がありました。
ご縁横丁にある、占いの《月と太陽》さん。知る人ぞ知る人気占い師の
米田佳子さんとのご縁を、早速現地でいただきました。

日頃、悩めるお客様にアドバイスを送っている身。さぞかし太田先生には
悩みなんて無いだろう・・・なんて、とんでもありません！

早速、占っていただきました。引いたタロットカードの4枚。
昨年の自分、今の自分、そしてこれからの自分。将来の展望。
すべて当てられました。納得いく疑いのない結果でしたので、弟子入りを
志願しました。

こちらの米田さんは、元々保育士さんでしたが、波乱万丈の人生から一転
占い師になることを決意。今では『出雲の母』と呼ばれる有名な女性です。
それに習って『長崎の母』となるべく
妻と一緒にオンラインで受講しています。



『長崎の母』の座は、妻に譲るとして・・・
私は

『長崎のおねえ♥』になります！（≧▽≦）

さて、太田東西薬局はおかげさまで、今年24年を迎えますが
過去にこんな出来事がありました。

遠方から来られた初めてのお客様に尋ねられました。

「この辺りによく当たると評判のお店があると聞いて伺ったのですが、こちら
でしょうか？」

病気がよく治る、ではなく「よく当たる」(笑)。

ずいぶん前の事で、どんなご相談だったかは忘れましたが、占った結果(笑)
満足して帰っていただいたことを覚えています。

長くご利用くださっているお客様はお分かりだと思いますが、太田東西薬局は
漢方を通じての<健康相談>が本業ですが、健康を徐々に回復できた時点から
<人生相談>に移行しています。

「どうすれば、より良く健康で幸せに生きていけるか？」の人生相談に。

『健康長命』のためには、がん・うつ病など再発させないためには

「薬で治す」「薬で抑える」対処より、病気になった根本原因にアプローチして
日々「原因を滅し続ける」意識と習慣が肝要です。

「なぜ自分はこの病気になったのか？」

この視点を持てるか？持てないか？ それで人生は大きく変わります。

持っている人は、自分の問題に向き合っている人。

持っていない人は、自分の問題を医者任せにしている人。

どちらが健康で幸せな人生を得られるかは、さもありなんです。

具体的な例をあげます。〈頭痛持ち〉で悩んでいる人がいたとして・・・
頭痛がするたびに、痛み止めを服用するだけの人は、薬（鎮痛剤）に依存している人。一方、どうして自分は頭痛持ちになったのか？ 鎮痛剤を手放すためにはどうすればいいか？ その意識と行動がある人は、自立した人です。

〈新型コロナウイルス〉。それもまた例外ではありません。

「感染者数急増」「長崎で新たに5人感染」。テレビ・新聞・ネットからの不安になる情報に過度に敏感になって、人との関わりを避け、ワクチンの開発と効果に期待する人は、メディアと薬に依存している人。

一方、「コロナに限らず、細菌・ウイルス全般に感染しない自分になるにはどうすればいいか？ マスク・消毒だけで果たしていいのか？」という発想を自ら持ち、自分の〈免疫力強化〉の習慣がある人は自立した人です。

2021年、最も必要なもの。それはお金でもなくワクチンでもなく・・・

「自立心」

自立とは、「自分で考えて行動すること」です！

自立とは、「自分の命に責任を持つこと」です！

占いの話題に戻ります。

私が『出雲の母』の米田さんに弟子入りして、占い師になる決意をしたのは占いが好きだったからではなく、米田さんの「自立心」に心打たれたから。曰く、

占いは、出た結果に依存するものではありません。「どうなるか？」ではなく「自分がどうしたいのか？」が大切です。占って出た結果が人生を決めるのではなく、目の前に出た結果を通じて、何を感じ、何を考え、どんな行動を起こして幸せな人生を目指すか？ それが「占いの真意」です。

〈占い師〉の米田佳子さんのこの考えは
〈薬剤師〉の太田憲一と全く同じです。

「病気になって、この先どうしよう？」
「コロナ、これからどうなるの？」
不安・恐れを感じて停滞するのではなく

これから世の中がどうなろうとも
「自分はこうして、こう生きていく！」
その生き方こそが『自立』です。



さて、今月号のタイトル

“うらない” 薬剤師 😊

『占い薬剤師』にかけてのことですが、もう一つ意味があります。
うらないは、“売らない”。 『売らない薬剤師』。

今、日本には約20000品目もの薬が存在し、病院で処方されています。
その恩恵で延命できている事実もありますが、多くの人たちは自分の病気の
根本原因に向き合う意識、根本から病気を解決する意識がありません。
＜薬物依存＞。自分の病気を、薬に任せようとしています。

薬剤師としてつくづく実感することは、「薬に頼り過ぎ」「薬の飲み過ぎ」で
体調を崩し悩んでいる人たちが多くことです。めまい・ふらつき・倦怠感の
原因が、血圧の薬の副作用だった。筋肉痛の原因がコレステロールを下げる薬
の副作用だった。もの忘れ・うつ症状が睡眠薬の効き過ぎだったなど。
薬を止めることで体調が良くなった相談は、枚挙にいとまがありません。

医療不信を煽っているわけではありません。長引くコロナ騒動をきっかけに
病院や薬に依存するのではなく、「何か」を感じ取ってほしいのです。

ご存知のように、太田東西薬局にはたくさんの
薬がありません・・・(笑)。
病気の相談を受ける上で、健康を維持する上で
「たくさんの薬は不要」と気づいたからです。

お客様が自分の病気の原因を自分の中に見出して
その解決に努力していく意識と行動を持てば
主格の3処方と、少しの薬があれば十分！

太田憲一は『たくさんの薬を“売らない” 薬剤師。
よく当たる“占い” 薬剤師』だとお考えください😊



では最後に、薬局のお客様の今年を占ってあげますね！
はい、こんなカードが出ました！！

愛と希望に満たされる一年になりますよ～😊

